

1. 放射線科の理念・特色

放射線科の役割は超音波検査、X線撮影やCT、MRIおよび核医学検査などを利用する画像診断、画像診断を応用した低侵襲性治療(IVR)、および放射線を使用して種々の疾患の放射線治療を行うことにあります。

近年、各種画像診断の進歩は著しく、CTでは64列以上の多列CTが当然になり、一回の撮像範囲は広く、撮像時間はきわめて短くなされています。撮像された画像を元に再構成し、追加被曝なく任意の断面で患者の状態評価ができるようになってきています。MRIでは3T MRIが登場し、画質の向上、撮像時間の短縮がなされています。IVRでは様々なデバイスが開発され、より簡便に、低侵襲に患者の治療が行われます。

放射線科では、医療機器の進歩に応じて、より患者に適した検査を心がけ、患者の最良な治療を行うことを目標としています。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

放射線科全般におよぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。

イ. 経験できる診療、技術

放射線治療、消化管透視、血管造影(主にTACE)、CT下生検・ドレナージ、X線診断、CT、MRI、核医学検査

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝						
午前	8:30~9:00 放射線カンファレンス	9:00~11:00 消化管透視(注腸)	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成
	CT・MRI・核医学検査 レポート作成					
午後	CT・MRI・核医学検査 レポート作成	CT・MRI・核医学検査 レポート作成		16:00~17:00 放射線カンファレンス	血管造影・ IVR見学・介助	
時間外			17:00~18:00 抄読会			

4. 指導医・スタッフ

部長 こやま たかし
小山 敬己

出身 滋賀医科大学 H5

専門	画像診断全般
認定	日本医学放射線学会放射線診断専門医

部長 まつい かつのり
松井 勝則

出身 鳥根大学 H1

専門	放射線治療
認定	日本医学放射線学会放射線治療専門医

5. 診療設備

CT キヤノンメディカルシステムズ Aquilion One Vision EDITION (320列)、Aquilion/64、Aquilion LB

1.5T MRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia1.5

3.0T MRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0

血管造影撮影装置 フィリップスジャパン Allura Clarity FD20/15

放射線治療 バリアン CLINAC 2100C/D



6. 診療実績

放射線読影	(2019 年度実績)
CT 検査	14,099
MRI 検査	4,612
消化管透視	169
X 線撮影	1,866
核医学	434
血管造影(TACE)	24
非血管系 IVR	2
CT 下生検	6

原発巣別症例	(2019 年度実績)
脳・脊髄	7
頭頸部	7
食道	12
肺・気管・縦隔(うち肺)	22(22)
乳腺	43
肝・胆・膵	4
胃・小腸・結腸・直腸	9
婦人科	2
泌尿器科(うち前立腺)	45(32)
造血器/リンパ系	3
皮膚・骨・軟部	8
その他(悪性)	0
良性	0
15 歳以下の小児	0

骨転移 31 件 (骨転移に対する内用療法 塩化ストロンチウム 1、塩化ラジウム 3)

脳転移 4 件

新患/新患+再患者 157/162 人

7. 学会認定施設

日本医学放射線学会・放射線科専門医修練機関